



観光交流館

からんころん 便り

第 140 号



2022 年(令和 4 年)
11 月 November

からんころん ニュース

からんころんのレンタサイクル

三島町観光協会で電動アシスト付自転車でのレンタサイクル事業を開始したのは 2018 年。会津宮下駅から第一只見川橋梁ビューポイントまでのアクセスをより便利との目的からでした。

この秋、行動制限も緩和されたことから多くの観光客の方にご利用いただき、予約で一杯になる日が続いています。貸出数も初めて月 100 台を超えました！ビューポイント以外に町内を周遊してくださる方も増え「何気ない風景が楽しめて良かった」と大変好評です。



【貸出料金】
4 時間まで 500 円(税込)
8 時間まで 1,000 円(税込)
※貸出時間：営業時間内のみ
詳しくは、観光協会にお問い合わせください。



R4 年度貸出台数(月別)

4 月	7 台
5 月	20 台
6 月	17 台
7 月	18 台
8 月	29 台
9 月	26 台
10 月	111 台
上半期	228 台

10 月利用台数 / 111 台

〔内訳〕
県内 8 台
東京・首都圏 57 台
甲信越 5 台
関西 13 台
九州 3 台
外国人含めその他 25 台

奥会津只見川ライン商工会物産展

11 月 16 日(水)～17 日(木)の 2 日間、東京日本橋にある日本橋ふくしま館(MIDETTE ミデッテ)において、奥会津只見川ライン商工会による物産展が開催されます。

奥会津 5 町村(三島町・柳津町・金山町・昭和村・只見町)の特産品や新商品、今だけ食べられる名物など美味しいものをもって出店しますので、ぜひお出かけください。



《開催日》2022 年 11 月 16(水)・17 日(木)
《会 場》日本橋ふくしま館 MIDETTE(ミデッテ)
催事コーナー
《問 合》只見川ライン商工会広域連携協議会
☎0241-82-2380



からんころんをご利用いただく町内・町外の皆さまへ 新型コロナウィルス・インフルエンザ等の感染対策にご協力ください

- 入館時は**マスクの着用・体温測定・消毒の徹底、お名前記入**をお願い致します。
- 短い滞在時間(30分程度)でのご利用をお願い致します。
- お飲み物は**テイクアウトカップにて提供**させていただきます。自分のために
- 館内では**2m 以上離れて**のご利用をお願い致します。みんなのために
- 館内はお客様が来館される毎に**換気やアルコール消毒**を行います。



11 月のからんころん茶屋

営業日	出店者	メニュー
12・13 日(土・日) 26・27 日(土・日) 【時間】11:00～14:00 ※売切れ次第終了	みやした そばと豆腐の会	もり蕎麦 700 円～ ・並盛 ・大盛 ・特盛 ・特々盛
11 月～12 月は都合によりお休みさせていただきます。	小松さんの 『まかなひや』	・日替わり ランチメニュー

【施設利用料】お申込み、詳細については観光協会へお問合せください
町民利用者【フロア】平日 500 円 / 休祝日 1,000 円
町外利用者【フロア】平日 2,000 円 / 休祝日 3,000 円

三島町関連のイベント情報

- 11/3 三島町文化祭／町民センター
11/5 沼田街道トレッキング(募集 15 名)／滝谷→宮下
11/16・17 奥会津只見川ライン商工会物産展／東京日本橋

只見臨時列車
お座トロ展望列車 11/4、11、18、26(※申込制)
団体臨時列車「風つこ号」11/19、20、27(※申込制)

【開催中のイベント・キャンペーン】

- ～11/11 第 10 回三島町会津地鶏キャンペーン
～11/12 名入ざる菊園
～11/27 駅からサイクリングスタンプラリー
& Instagram キャンペーン
スタンプ台紙は道の駅尾瀬街道みま宿、からんころんにて配布しています。
～12/16 「桐郷郷宿泊割引」キャンペーン
※からんころんでのチケットの販売はございません
※その他詳しくは観光協会へお問い合わせください

〔三島町観光協会・観光交流館からんころん〕

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 214-5

●TEL 0241-48-5000 ●FAX 0241-42-7072

●Mail mishima@oboe.ocn.ne.jp

- ホームページ：<http://www.mishima-kankou.net>
- 三島町特産品オンラインショップ(通販)：<https://www.mishima-shop.jp/>
- Facebook：<https://www.facebook.com/okuaizu.mishima/>
- Twitter：<https://twitter.com/karancoron23>
- Instagram：https://www.instagram.com/karancoron_mishima/

紅葉シーズンの三島町

道の駅は
平日も満車→



紅葉シーズン真っ只中の奥会津ですが、今年は各イベントの復活や、只見線が全線再開通したこともあり、週末に限らず賑わいを見せています。

只見線や第一只見川橋梁を目的に訪れる観光客は、新型コロナ感染以前は写真愛好家や外国人(とくに台湾)が大半を占めていましたが、今は日本全国から広い層(とくに女性)のお客さまが多く訪れるようになりました。道の駅はもちろん大忙しですが、からんころんも連日何十件とある問合せや、レンタサイクルの貸し出しも追いつかないほどの嬉しい悲鳴です。

三島町は今、紅葉・ざる菊ともに見頃を迎えています。ぜひ足を運んでみてください。

〔からんころんのある日の問合せ:電話編①〕

「ハイ、三島町観光協会です」。

只見線全線再開通と紅葉の時期が重なり、何時にも増して電話が鳴りっぱなしだ。ある日(平日)の着信記録を見てみると11時台、12時台が多く、ほぼ10分おきに電話を受けている。この日スタッフは昼食をとれたのだろうか? 他のスタッフが接客で忙しいとき、まだ不慣れな私も電話を取る機会が増えてきた。若い方はネットで調べることが多いのか、電話の相手は年配の方が圧倒的に多い。そんな中で受けた問合せをひとつご紹介。

お客さま「埼玉から車でそっち方面へ行きたいんだけど、田島へは鬼怒川経由と塩原経由のどちらがおススメ?」

わたし「どっちも景色はいいのですが、白河インターで降りて甲子トンネルに入り、下郷に抜けるルートも走りやすくていいですよ」

お客さま「ああ、高速には乗らないでノンビリ行きたいのヨ。大内宿に寄ってその日は会津若松で一泊してネ、次の日は喜多方でラーメンを食べて山形へ行こうと思ってるんだけどネ」

わたし「・・・」オーイ、三島へは寄らんのかい?。

お客さま「あのね、いつも一緒に行くお友達が足にケガしちゃってネ、私一人じゃ無理だって言うんだけど私どうしても行きたいのヨ。そっちにはどう行ったらいいんだい?新潟からも行けるって聞いたけど」

わたし「ハイ、新潟からも来られますよ」

お客さま「あのね、いつもお友達が全部手配してくれるんだけど、今度は私一人なのよ。それでネ、大人の休日倶楽部に入ってるから新幹線も乗り放題なのヨ。石巻から一人で行くんだけど、どうやって行ったらいいんだい?」

わたし「・・・」お友達のケガが早く治ることを祈ってます。

皆さん楽しそうに電話をかけてこられます。すでに旅が始まっているんですね。「皆さん三島町へようこそ! そしてどうか良い旅を」(大橋のつぶやき)

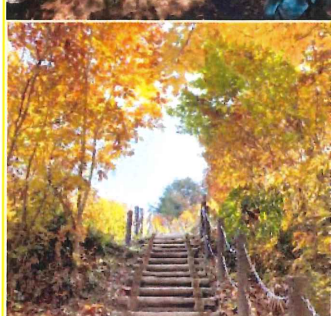
只見川橋梁 ビューポイント遊歩道



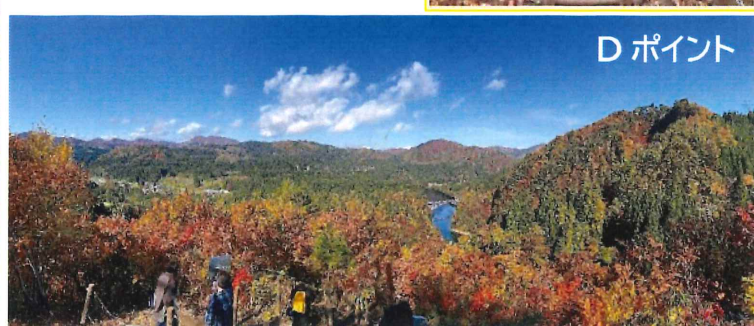
B ポイント



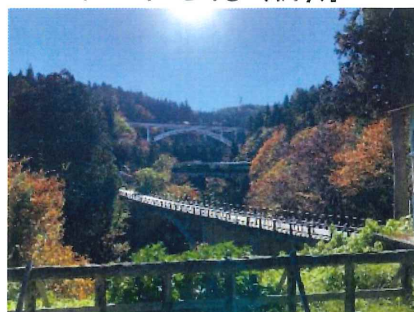
C ポイント



D ポイント



アーチ 3 兄 (橋) 弟



見線全線再開通記念横断幕 作:三島中学校の皆さん
三島中文化祭
『桐陽祭』会場にて撮影

